

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2016年9月発行

先月の「はもりあ四日市」20周年記念シンポジウムには、多くの方にご参加いただきありがとうございます。パネルディスカッションでは、この20年の男女の働き方、暮らし方の変化について、「変わってきたようで、あまり変わっていない」、「変わっていないようで、少しは変わってきた」とパネリストからの発言がありました。皆さんは、どのように感じられているのでしょうか。職場、地域、家庭など、あらゆる場所で、すべての女性がいきいきと活躍できるよう、皆で考え、できることから行動していきましょう。

さんかくカレッジ2016市民企画講座受講者募集中

女性のためのコミュニケーション講座

『“いい人”ではなく、“私らしい人”へ
～人間関係は自分が変えられる～』 《ままたまご》企画・運営

自分も他者も大切にしながら、自分の意見を主張していくコミュニケーションを学び、自分らしい生き方について学ぶ6回連続講座です。

- 第1回 10/14(金) オリエンテーション「わたし発見！ゴールをめざして一步をふみ出そう」
- 第2回 10/28(金) 「わたしも大切、あなたも大切/人との関係の築き方」
- 第3回 11/11(金) 「わたしが主人公の人生/主体的に考える・行動する」
- 第4回 11/25(金) 「それは誰の問題ですか/相手とわたしの課題を分ける」
- 第5回 12/9(金) 「苦手な人とのつきあい方/相手の不適切な行動をどうとらえるか」
- 第6回 12/16(金) 「人と協力して人生を生きていく/信頼や尊敬の気持ちで人と関わるには」

対象 市内在住、または通勤・通学し全6回参加できる女性

場所 本町プラザ3階 はもりあ四日市会議室 **時間** いずれも 18:30~20:30

定員 20名(先着順) **参加費** 全6回通して 1,500円

講師 第1回~3回・・・伊藤静香さん(NPO 法人参画プラネット常任理事)

第4回~6回・・・田口 薫さん(日本アドラー心理学会、家族コンサルタント)

その他 託児有(6カ月~小学3年生程度まで、無料ですが10/1(土)までに要事前申込み)

申込み 講座名・参加者名・住所・電話番号・託児希望の場合は預ける子の名前と年齢を電話かFAX、またはEメールで「はもりあ四日市」まで



男のカンタン料理『おやじの昼ごはん』 《シニアサークル「男の囲炉裏端」の会》企画・運営

定年後男性の時間の有効活用、また男性の家事参画のきっかけに、まずはカンタン料理に挑戦してみませんか？コンセプトは「昭和の味がする懐かしいレシピ」です。3回連続講座です。

第1回 10/14(金) 「肉じゃが」と、味噌汁・ご飯・大根と貝柱のサラダ

第2回 11/11(金) 「親子丼」と、けんちん汁・ほうれんそうのごまあえ

第3回 12/2(金) 「カレーライス」と、ゆで卵とブロッコリーのサラダ・ミルクプリン

対象 市内在住の60歳以上の男性で全3回参加できる方

場所 本町プラザ3階 はもりあ四日市調理室 **時間** いずれも 9:30~12:30

定員 12名(応募多数の場合抽選) **参加費** 全3回通して 3,000円

講師 田中宣子さん(料理研究家)

持ち物 エプロン・三角巾・布巾・筆記用具・上履き(必要な方。スリッパはあります)

その他 託児有(6カ月~未就学児まで、無料ですが要事前申込み)

申込み 往復はがきで、講座名・参加者名・住所・電話番号・託児希望の場合は預ける子の名前と年齢を記入し、はもりあ四日市まで 〒510-0093 四日市市本町9-8 **9/23(金)必着**



事業報告

四日市市男女共同参画センター「はもりあ四日市」

20周年記念シンポジウム

8月6日(土)、はもりあ四日市が「女性センター」として誕生して20年を記念したシンポジウムを開催しました。基調講演では、国の男女共同参画基本計画の策定に携わられた鹿嶋敬さん(一般財団法人女性労働協会会長)に、第4次画基本計画のポイントとして、男性が男女共同参画の視点を持ち、男性の働き方や意識を変えることが重要であることや、国が進めている地方創生も、女性活躍がポイントであり、男女共同参画の視点が重要であるということをお話いただきました。



【第1部 基調講演】



【第2部 パネルディスカッション】

また、パネルディスカッションでは、市民、企業、行政と立場の異なる方々をパネラーに迎え、四日市市での20年のあゆみを元にお話いただきました。はもりあ設立時やそれからの行政の取り組み、女性が働きやすい職場への企業での取り組み、また、家庭を持ち働く女性として、管理職まで歩んできた立場からも同うことができました。20年前と聞こえてくる声が同じであること、それでも、様々なところで変わってきたと感じていることなど、深く男女共同参画を体感されてきたパネラーの方々のお話に、思いを新たにしましたシンポジウムとなりました。

報告

28年度はもりあフェスタ企画運営委員会

7月29日(金)、ワークショップを実施する11の登録グループ代表者と、「第1回企画運営委員会」を開き、平成28年度のはもりあフェスタの内容等について話し合い、「オープニング」、「登録グループによるワークショップ」、「登録グループ活動紹介の展示」、「チャレンジショップ」、「エンディング」等の企画を検討しました。

今年度のはもりあフェスタのテーマは、企画運営委員会ですさまざまな意見が出た結果、

「原点回帰 はもりあ四日市20年 男女共同参画の歩みを見つめる」

となりました。このテーマは、はもりあ四日市開設20年という記念の年に、初心に帰り、男女共同参画の課題を見つめ直そうという意味が込められています。

はもりあフェスタについては、情報紙「はもりあ」やセンターホームページなどで、随時お知らせいたしますので、楽しみにしててください。



【委員会の様子】

事業報告

こどもさんかくカレッジ2016 ~びるびるジェルキャンドル作り&ちょこっとさんかく教室~

8月19日(金)、こどもさんかくカレッジ2016を開催しました。夏休みと春休みに開催する「こどもさんかくカレッジ」ですが、今回の講座には定員20名に対し、90名を超える応募があり、抽選で選ばれた子どもたちが参加してくれました。ジェルキャンドル作りは、キャンドルアーティストの伊藤さち子さんの指導で、ケーキ型や四角型、パフェ型の容器に思い思いの色の砂や貝殻などを入れてデザインをし、世界に一つだけの素敵なジェルキャンドルが出来上がりました。ちょこっとさんかく教室は、男女平等教育出前講座の講師をしていただいている上野尚子さんと「ジェンダー平等教育指導者養成講座」修了生の稲垣純子さんから、パネルシアター、手遊び、歌遊びを通して、性別で個性を制限しなくてもよいということを学びました。夏休みの思い出の一つと共に、ジェンダーについて考えるきっかけになればいいなと思います。



【ジェルキャンドル作り】



【ちょこっとさんかく教室】

募集中

女性のための自己尊重講座

わたしを大切にするための3ステップ講座

相談室
から

昨年も「心が軽くなった」
「自分を考えることができた」
「またがんばろうと思った」
と大好評でした。



講師 石田ユミさん

(フェミニストカウンセラー・臨床心理士)

- 1ステップ 9月17日(土)13:30~15:30
「私は何を考えているのだろう~自分自身を知る~」
- 2ステップ 9月24日(土)13:30~15:30
「うまく言葉にできない~自己表現してみる~」
- 3ステップ 10月1日(土)13:30~15:30
「自分らしく生きたい
~自分も他者も大切にする生き方を学ぶ~」

- 場所: 本町プラザ5階 第3会議室
- 対象: 全3回参加できる市内在住・通勤・通学の女性はじめて受講される方を優先します。
- 定員: 30人 定員になり次第×切 ●参加費: 無料
- 託児: 有(6カ月から小学校3年生程度まで)
無料・先着10人程度
9月3日(土)までにお申し込みください。
- 申込: 住所・名前・電話番号・託児の有無(託児希望の場合はお子さんの名前と年齢)を、電話かFAXまたはメールで「はもりあ四日市」へ

今月のキーワード

ダブルケア

近年、結婚する年齢や、子どもを持つ年齢が高くなってきたこと等を背景に、育児と親の介護を同時期に担う「ダブルケア」という問題が発生しており、社会的にも関心が高まってきています。

平成28年4月に公表された内閣府の調査によると、ダブルケアの推計人口は、約25万人(女性17万人、男性8万人)、平均年齢は男女とも40歳前後で、30~40歳代が8割を占めています。

また、ダブルケアによる就業への影響では、「働き方を変えなくてすんだ」男性は約半数に対し、女性は約3割です。その理由で男性で最も多かったものは、「家族の支援が得られた(47.3%)」ですが、同じ理由で、女性は27.0%でした。離職した人は、男性2.6%に対し、女性は17.5%となっており、女性への影響の方が、男性よりも大きくなっています。

介護に関しては、女性も男性も仕事上で重要な地位となる時期であり、影響が懸念されますが、今回の調査では、ダブルケアの問題は、育児同様、女性の就業が困難となる結果となっています。

改めて、仕事と生活との折り合いや、家庭内での性別によらない役割分担について、考えていく必要があります。

男女
共同

さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

今回は、私(43歳男性)の子育て奮闘記です。

R君とK君は、8月で4歳1カ月になりました。この記事が出る頃には、夏休みも終わり、また毎日元気よく幼稚園に通っていると思います。幼稚園といえば、以前R君が熱を出したので欠席し、K君だけが通園したことがありました。その時のK君は、幼稚園にいる間中ベソを掻きながら、先生に「お母さんとRちゃん迎えに来てくれるかなあ」とべったりだったそうです。その翌日以降毎朝「今日はRちゃん一緒に行く?」と確認するようになりました。これまで二人はいつも一緒に、親子で共有する時間より二人の時間の方が長いわけですから、互いの存在が感じられないと不安になるのかもしれませんが、自立のために来年はクラスを分けた方がよいかなあと思っています。

さて、最近になって、R君は青色の服がいいと言うようになりました。以前はR君だからRed(赤)、K君だからKi i r o(黄)の服を選ぶことが多かったのですが、今は赤色を着てくれません。ジェンダーには意識してきてはいたのですが…。何故?【担当: Y】

登録グループイベント情報

NPO法人四日市まんなかこどもステーション

まんなかの子育ちひろば

家ではなかなかできないような絵具や水遊びをします。

大人は、子どもの遊びを見守ります。一度遊びに来てください。

日時：平成28年9月27日(火)、10/25(火)、11/22(火)

いずれも10:00~13:30

場所：四日市まんなかこどもステーション

対象：未就園児の親子

参加費：親子1組100円

持ち物：お茶、着替え(汚れてもよい服装)、昼食持参可

その他：予約不要

お申込み・お問合せ：

四日市市西町2-12

電話：059-351-6670 FAX：059-351-6679



NPO法人四日市まんなかこどもステーションは、子どもが心も身体も豊かに成長するために、子ども体験と子育て支援を通して、みんなの居場所をつくります。そして、大人も子どもも互いに、学び合い、心響き合い、表現し合う社会を目指して、活動しています。

登録グループ活動紹介

こんにちは、NPO法人四日市男女共同参画研究所です。

代表 坂倉 加代子
連絡先 059-326-2431

2006年3月より女性の自立支援と男女共同参画の視点をもったまちづくりをテーマに活動を続け10年目。学び、調べ、できることから実践するのがモットーです。

設立時から、「はもりあ四日市」の夜間開館委託事業を継続受託中。また、DVなどから逃れてきた女性への「せっぱつまった入用資金貸付バンク」も、同時期に設立・運営しています。

今年度も、「貧困」「介護」「少子化」「防災」といった様々なキーワードから、皆さんとご一緒に考え、語り合う事業を行います。9月3日には、はもりあ20周年を記念に、講演会「なぜ少子化は止まらない」を開催します。

- ★「息子の介護の時代」というテーマで、さんかくカレッジやはもりあフェスタのワークショップを企画しています。
- ★「防災・地域巡回講座」を複数地区で予定しています。
- ★ 女性の労働を描いた韓国映画『外泊』や、元気な高齢者の音楽映画『ヤング@ハート』など、研究所所有DVDを貸出ししています。

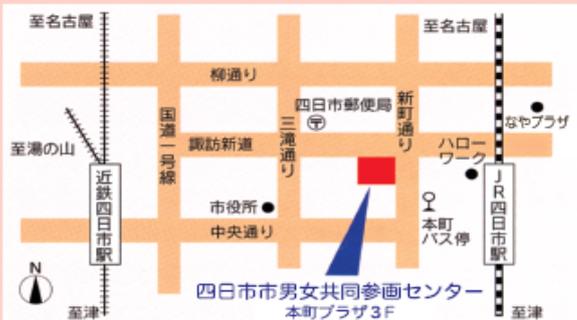
◎◎◎あとかぎ◎◎◎

こんにちは。松永です。先日、四日市花火大会の清掃活動へ行ってきました。

市の職員はもちろん、地元の企業や老人会の方々などにも参加いただき、そうじとゴミの分別を行いました。

地元の皆さん、企業などの協力があるからこそ、活気のある盛大な祭事になる、ということを確認しました。

(私事で恐縮ですが、祖父も老人会メンバーとして清掃活動に参加していたことを後で知り、改めて尊敬しました。)



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml